

意見書

神戸大学はとぼっぱ保育所施設長殿

クラス _____ 組 児童名 _____

病名 [_____]

上記児童は、20 年 月 日から療養中でしたが、診察の結果、集団生活に支障がない状態になったので、 年 月 日より登所可能と判断します。

20 年 月 日

医療機関名または医師名 _____

【保護者様】

保育施設は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行を出来るだけ防ぎ、子どもたちが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団生活可能な状態となつてからの登所であるようご配慮ください。

医師が記入した意見書が必要な主な感染症（※その他の疾患は保育所のしおり参照）

感染症名	感染しやすい期間	登所のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日目から発疹出現後 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日を経過するまで
風疹（風疹）	発疹出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現 1～2 日前から痂痂形成まで	すべての発疹が痂痂化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹は発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		
咽頭結膜炎（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、めやに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで。または、5 日間の適性な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によっていずれも菌陰性が確認されたもの